

小学校 3年

駅のまわりを調べよう

大阪狭山市立南第二小学校

教科

社会

単元名

わたしのまち みんなのまち

本時のねらい

市内にある金剛駅周辺にある建物などを知り、駅周辺は商店が多いことから人々が集まってくる場所には商店が多いことに気付く。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

駅は校区外にあり、校外学習で行くことは難しい。そこで、Google Earth のストリートビュー機能を使うことで校外学習のように駅周辺を調べることをねらいにしている。また、Google Earth によって学校などの公共施設の市内における位置関係の比較を行うこともねらいにしている。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・タブレットカメラ
- ・Google Earth
- ・投影用テレビ
- ・投影用ソフト (SX Virtual Link Display for Education)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none">○前時の確認をする。<ul style="list-style-type: none">・校区にある公共施設がどこにあるか○めあての確認。 「金剛駅のまわりを調べよう」○活動のペアの役割を決める。	<ul style="list-style-type: none">・ペアでの活動の中で、一方の児童が Google Earth、もう一方の児童がカメラを起動し、探索と記録の役割を分ける。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none">○Google Earth で南第二小学校の場所を確認する。○金剛駅の場所を確認する。○駅周辺を Google Earth で調べる。	<ul style="list-style-type: none">・ローマ字を学習する前でもフリック入力を使っていくと、検索機能を使って場所を調べることができる。・学校から駅まで Google Earth で移動する様子を見ることで、駅が学校から北西の位置にあることがわかる。・駅周辺の建物などをストリートビューにして確認し、実際に歩いているように駅周辺の探索をする。・見つけた建物をペアの児童のタブレット端末で撮影し、発表する内容を話し合う。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none">○見つけた建物を紹介する。○気付いたことを交流する。<ul style="list-style-type: none">・駅の周りにはお店が多い・林や田んぼが少なく、家がたくさんある	<ul style="list-style-type: none">・撮影したものをテレビに映し出し、拡大したり、さし示したりしながら店や施設などを紹介することで、相手に伝えたいことを明確にさせる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：Google Earth で学校の位置を確認している場面



写真2：駅周辺で発見した建物をもう一つのタブレットで撮影し、記録に残している場面



写真3：撮った画像をテレビに映し出し、見つけた建物を紹介している場面

児童生徒の反応や変容

- ・教室にいながら知っている場所を見ることができたので、写真をただ見せる以上に臨場感を持って地域について学んでいた。
- ・Google Earth で地図を動かすことで、東西南北の意識を持ち、方位で説明しようとする姿がみられた。
- ・タブレット端末上では、校区から駅まですぐに移動できるので学校の周りと比較しながら駅周辺を調べる児童が多く、住宅の多い地域と商店の多い地域との違いを知ることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレット端末を役割分担して活用することで、自分の役割が何かを明確にすることができた。
- ・ペアやグループ活動で、端末操作に不慣れな児童も自信を持って取り組めており、協働学習へとつながった。